

会員同士の交流を深め合う

第10回グラウンドゴルフ大会



▲年に1度のグラウンドゴルフ大会にのぞむ

J A年金友の会による、『第10回グラウンドゴルフ大会』が7月10日に開催され、100名を越す会員が参加しました。

はじめに大高会長が「これまでの練習の成果を発揮し、精いっぱいプレーして下さい。」と挨拶。その後競技が開始され、会員たちは晴天の下プレーを楽しみました。

優勝には工藤金一さん（東雲地区）が輝き、「皆さんと楽しんでプレーしたことが優勝に繋がったと思います！」と喜びのコメントを頂きました。

市場評価を追い風に

更なる販売力向上を誓い合う



▲白神りんどうの出来を確認する生産者

あきた白神りんどう生産組合による、りんどう目揃会が7月3日、藤里地区集出荷所で開催されました。

生産者やJ A関係者など20名が参加した目揃会では、販売情勢や出荷規格などを説明。県の普及課担当者が「市場から高評価を得ており、この品質を維持して更なる出荷量増加を目指して欲しい。」と話すなど、新たな特産品の確立に向けて、生産者は出荷規格の統一を誓い合いました。

各圃場の生育状況を確認し

今後の栽培管理を検討



▲生産者と共に追肥や病害虫対策などを確認し合う

J Aは7月9日から18日にかけて、管内各生産者の稲の生育を調査する、あぜ道巡回を実施しました。

今年は春先の低温や暴風雨の影響が懸念されましたが、生育はほぼ平年並みにまで回復。営農指導員は「今後猛暑で草丈が一気に伸びる可能性もある。倒伏対策や稲の活力維持などに向け、生育・栄養診断の実施が必要。」と呼びかけ、生産者と今後の管理について話し合いました。

皆様に愛されて15周年

感謝を込めたイベントを実施



▲趣向を凝らしたイベントで利用者を楽しませた

農産物直売所みようが館で8月3日、周年祭および直売フェスタが開催され、多くの来店者で賑わいました。

みようが館は今年で設立15周年を迎えます。これまでの利用に感謝を込めて、当日は先着200名に記念品をプレゼントしたほか、直売品や家電製品が当たるクジ引きも行われました。みようが館では今後も、新鮮・安全・安心な商品提供をモットーに、「地産地消」活動の推進に努めます。